

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月12日 (2009.11.12)

【公表番号】特表2009-508902(P2009-508902A)

【公表日】平成21年3月5日 (2009.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-009

【出願番号】特願2008-531609(P2008-531609)

【国際特許分類】

C 07 C 235/42 (2006.01)

C 07 D 333/24 (2006.01)

A 61 K 31/381 (2006.01)

C 07 D 307/68 (2006.01)

A 61 K 31/341 (2006.01)

A 61 K 31/167 (2006.01)

C 07 D 333/40 (2006.01)

A 61 P 11/00 (2006.01)

A 61 P 1/04 (2006.01)

A 61 P 31/04 (2006.01)

A 61 P 17/06 (2006.01)

A 61 P 37/08 (2006.01)

A 61 P 17/00 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

A 61 P 19/02 (2006.01)

A 61 P 9/10 (2006.01)

A 61 P 9/08 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 37/02 (2006.01)

A 61 P 11/06 (2006.01)

A 61 K 8/49 (2006.01)

A 61 K 8/42 (2006.01)

A 61 Q 19/00 (2006.01)

【 F I 】

C 07 C 235/42 C S P

C 07 D 333/24

A 61 K 31/381

C 07 D 307/68

A 61 K 31/341

A 61 K 31/167

C 07 D 333/40

A 61 P 11/00

A 61 P 1/04

A 61 P 31/04

A 61 P 17/06

A 61 P 37/08

A 61 P 17/00

A 61 P 29/00

A 61 P 19/02

A 61 P 9/10 1 0 3

A 61 P 9/10

A 6 1 P 9/10 1 0 1
 A 6 1 P 9/08
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 37/02
 A 6 1 P 11/06
 A 6 1 K 8/49
 A 6 1 K 8/42
 A 6 1 Q 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月18日(2009.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

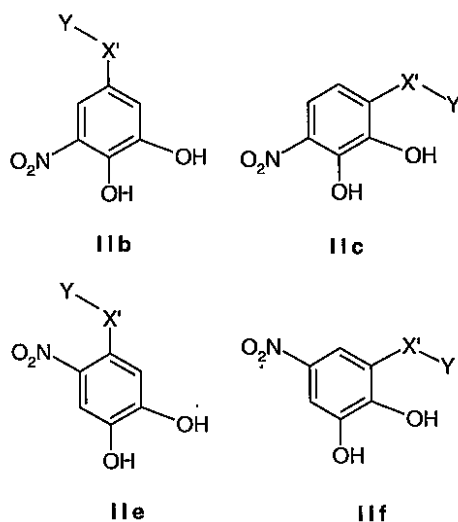
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式(IIb)若しくは式(IIc)若しくは式(IIf)若しくは式(IIe)：

【化 1】



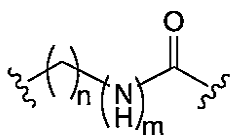
の少なくとも1つの化合物又は該化合物の薬学的に受容可能な塩、エステル若しくはアミド及び医薬に有用な薬学的に受容可能な担体を含む薬学的組成物。

上記式中、

- X' - は、

(a)

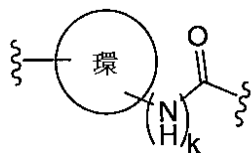
【化 2】



であって、ここでmは、0、1であり；nは、1～3の整数であり、

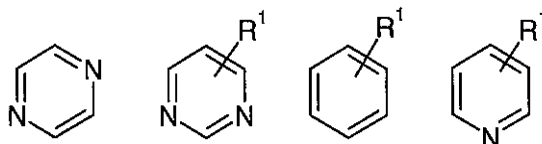
(b)

【化 3】



であって、ここで「環」は、

【化 4】

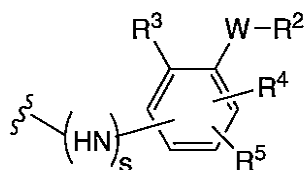


であり、そしてここで R^1 は、 H 、 NO_2 、 CF_3 、 F 、 Cl 、 Br 、 I 、 CN 、 CH_3 、 NH_2 、 NH アルキル、 NH アリール、 NH アシルであり、そして k は 0、1 であり、

- Y は、

(a)

【化 5】



であって、 s は、0 又は 1 であり、

R^2 は、 CO_2H 、 CO_2 アルキル、 CO_2 アリール、 CO_2NH_2 、 CO_2 アラルキル、 SO_3H 、 SO_2NH_2 、 $PO(OH)_2$ 、1-H-テトラゾリル-、 CHO 、 $COCH_3$ 、 CH_2OH 、 NH_2 、 NH アルキル、 N (アルキル)アルキル'、 OCH_3 、 CH_2OCH_3 、 SH 、 F 、 Cl 、 Br 、 I 、 CH_3 、 CH_2CH_3 、 CN 、 CF_3 であり、

R^3 は、 R^2 から独立して H 、 CH_3 、 CH_2CH_3 、 CF_3 、 F 、 Cl 、 Br 、 I 、 CN 、 NO_2 であり、そして R^4 は、 R^2 及び R^3 から独立して H 、 CH_3 、 CH_2CH_3 、 CF_3 、 F 、 Cl 、 Br 、 I 、 CN 、 NO_2 、 R^2 であり、

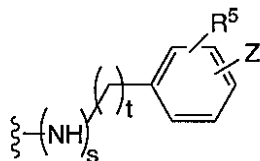
R^5 は、 H 、 NO_2 、 CF_3 、 F 、 Cl 、 Br 、 I 、 CN 、 CH_3 、 OCH_3 、 SH 、 NH_2 であり、

そして - W - は、- $(CH_2 -)_v$ 、シス - $CH = CH$ - 又はトランス - $CH = CH$ - であり、そして v は、0、1、2 であり；

- W - が、シス - $CH = CH$ - 又はトランス - $CH = CH$ - である場合には、 R^2 は、 NH_2 又は SH であってはならず；

(e)

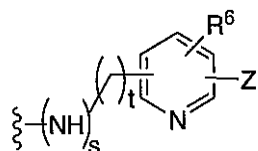
【化 6】



であって、ここで t は、0、1、2 であり、

(f)

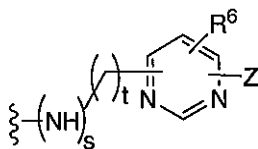
【化 7】



であり、

(g)

【化 8】

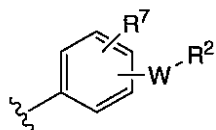


であり、

- Z は、

(i)

【化 9】



であって、 R^7 は、 R^2 から独立してH、 NO_2 、 CF_3 、F、Cl、Br、I、CN、 CH_3 、 OCH_3 、SH、 NH_2 であり、

(iv)

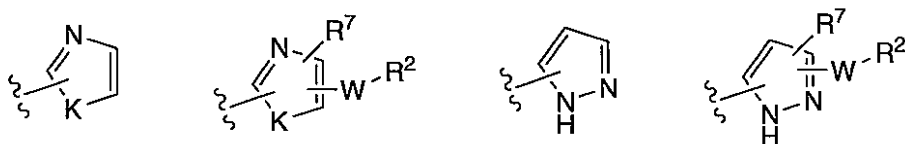
【化 10】



であって、ここでKは、NH、NMe、O、Sであり、

(v)

【化 11】

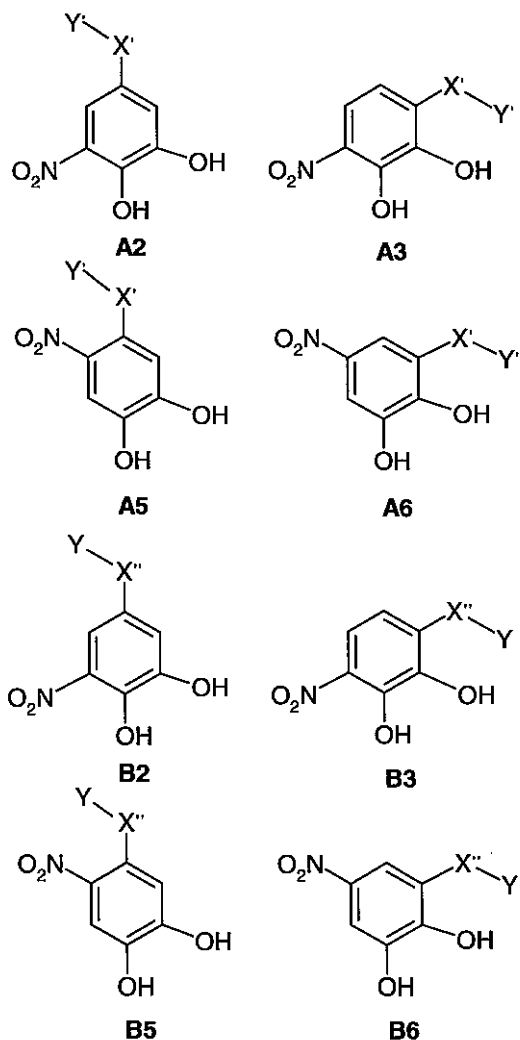


である。

【請求項 2】

化合物が、式 (A 2) 又は式 (A 3) 又は式 (A 5) 又は式 (A 6) 又は式 (B 2) 又は式 (B 3) 又は式 (B 5) 又は式 (B 6) :

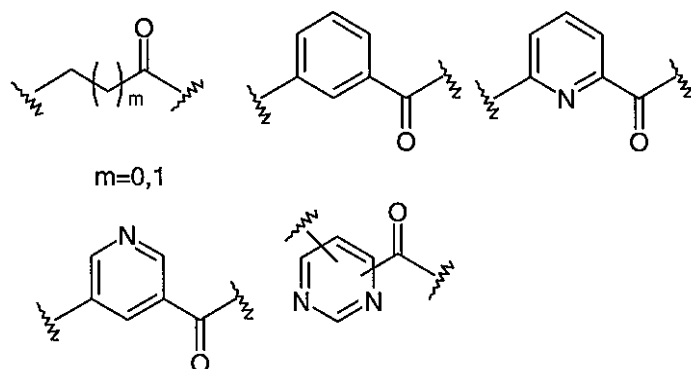
【化 1 2】



によって定義される、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

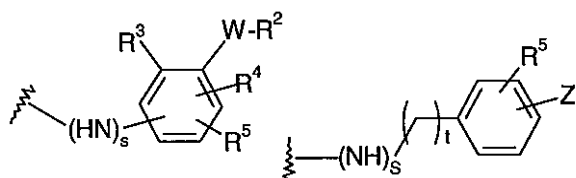
上記式中、 $-X'$ - 及び $-Y$ は、請求項 1 で定義される通りであり、そして $-X''-$ は、

【化 1 3】



であり、そして $-Y'$ は、

【化 1 4】

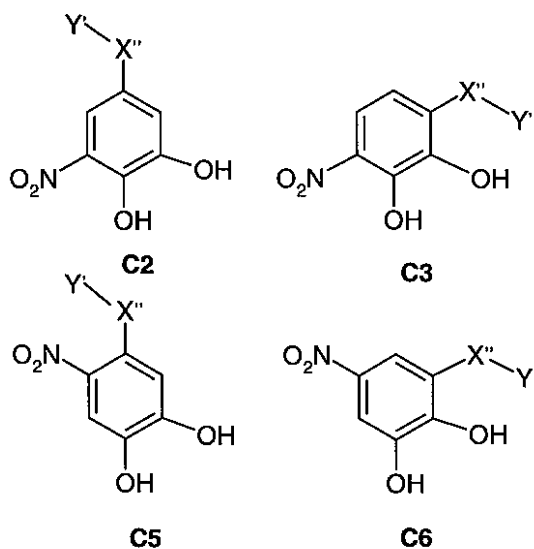


であり、ここですべての指標、記号及び置換基は、請求項 1 で定義される通りである。

【請求項 3】

化合物が、式 (C 2) 又は式 (C 3) 又は式 (C 5) 又は式 (C 6) :

【化 1 5】

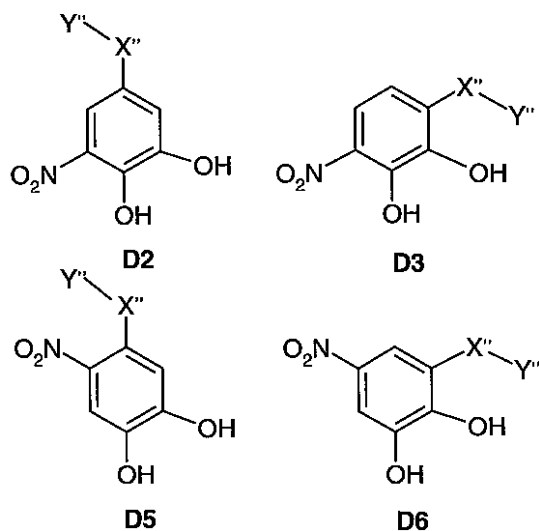


(式中、-X''-及び-Y'は、請求項 2 で定義される通りである) によって定義される、請求項 2 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4】

化合物が、式 (D 2) 又は式 (D 3) 又は式 (D 5) 又は式 (D 6) :

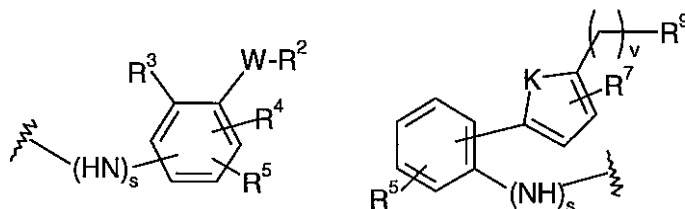
【化 1 6】



で定義される、請求項 3 に記載の薬学的組成物。

上記式中、-X''-は、請求項 2 で定義される通りであり、そして-Y'は、

【化 17】



であって、ここで R^9 は、 CO_2H 、 CO_2 アルキル、 CO_2 アリール、 CO_2NH_2 、 CO_2 アラルキル、 CH_2SO_3H 、 $CH_2SO_2NH_2$ 、 $CH_2PO(OH)_2$ 、1-H-テトラゾリル、 CHO 、 $COCH_3$ 、 CH_2OH 、 CH_2NH_2 、 CH_2NH アルキル、 CH_2N (アルキル)アルキル、 CH_2OCH_3 、 CH_2SH であり、

ここですべての指標、記号及び置換基は、請求項1で定義される通りである。

【請求項5】

請求項3又は4に記載の式(C2)又は式(C3)又は式(C5)又は式(C6)又は式(D2)又は式(D3)又は式(D5)又は式(D6)の一般構造を有する化学物質。

【請求項6】

慢性閉塞性肺疾患(COPD)、急性肺障害(ALI)、心肺バイパス、急性呼吸促進症候群(ARDS)、クローン病、敗血症性ショック、敗血症、慢性炎症性疾患(例えば乾癬、アトピー性皮膚炎及び慢性関節リウマチ)、並びに心臓発作、脳卒中、アテローム性動脈硬化症及び器官移植後に生じる再灌流障害、外傷性ショック、多臓器不全、多発性硬化症のような自己免疫疾患、経皮経管的血管形成術、喘息並びに炎症性腸疾患を処置するための医薬の製造のための、請求項1で定義される式(IIb)、式(IIc)、式(IIe)又は式(II f)の構造を有する化合物の使用。

【請求項7】

炎症性疾患を処置、診断又は予防するための医薬の製造のための、請求項1で定義される式(IIb)又は式(IIc)又は式(IIe)又は式(II f)の構造を有する化合物の使用。

【請求項8】

診断又は治療の薬剤標的のためのビヒクルの製造のための、請求項1で定義される式(IIb)又は式(IIc)又は式(IIe)又は式(II f)の構造を有する化合物の使用。

【請求項9】

化粧用組成物又は皮膚科学的組成物の製造のための、請求項1で定義される式(IIb)又は式(IIc)又は式(IIe)又は式(II f)の構造を有する化合物の使用。

【請求項10】

請求項1に記載の式(IIb)又は式(IIc)又は式(IIe)又は式(II f)の少なくとも1つの化合物及び少なくとも1つの化粧用に許容される成分を含む化粧用組成物。

【請求項11】

請求項1に記載の式(IIb)又は式(IIc)又は式(IIe)又は式(II f)の少なくとも1つの化合物及び少なくとも1つの皮膚科学的に許容される成分を含む皮膚科学的組成物。